

米軍基地関係特別委員会記録  
<第2号>

平成31年第2回沖縄県議会（定例会）閉会中

令和元年6月10日（月曜日）

沖 縄 県 議 会

## 米軍基地関係特別委員会記録<第2号>

---

### 開会の日時

年月日 令和元年6月10日 月曜日  
開 会 午後1時15分  
散 会 午後1時58分

---

### 場 所

第4委員会室

---

### 議 題

- 1 軍使用土地、基地公害、演習等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立  
(米軍CH53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故について)
- 2 米軍CH53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故に関する意見書及び抗議決議の提出について(追加議題)

---

### 出 席 委 員

委 員 長	仲宗根	悟 君
副 委 員 長	親 川	敬 君
委 員	山 川 典 二	君
委 員	花 城 大 輔	君
委 員	末 松 文 信	君
委 員	宮 城 一 郎	君
委 員	照 屋 大 河	君
委 員	新 垣 清 涼	君

委員 瀬長 美佐雄 君  
委員 渡久地 修 君  
委員 金城 勉 君  
委員 當間 盛 夫 君

委員外議員 なし

---

### 欠席委員

照屋 守之 君

---

### 説明のため出席した者の職・氏名

知事 公室 長 池田 竹州 君  
基地対策統括監 金城 典和 君  
参事兼基地対策課長 溜 政仁 君  
教育庁教育指導統括監 半嶺 満 君

---

○仲宗根悟委員長 ただいまから米軍基地関係特別委員会を開会いたします。

本委員会付議事件軍使用土地、基地公害、演習等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立に係る米軍C H53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故についてを議題といたします。

本日の説明員として、知事公室長の出席を求めています。

米軍C H53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故についての審査を行います。

ただいまの議題について、知事公室長の説明を求めます。

池田竹州知事公室長。

○池田竹州知事公室長 ただいま議題となっております米軍C H53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故について、県の対応を御説明いたします。

6月4日午後3時35分ごろ、浦添市の浦西中学校テニスコートに、飛行中の普天間飛行場所属のCH53Eから部品が落下する事故が発生しました。

在沖米軍は、落下物であるブレードテープは、ゴム製で約20グラムであることから、人身や財産に脅威をもたらすものではないと説明していますが、飛行中のヘリコプターから部品が落下すること自体が問題であり、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとって大きな不安を与えるもので、極めて遺憾であります。

事故後、在沖米軍は、ブレードテープのついている全ての航空機を検査したとしておりますが、そもそも、このような事態が発生する前に点検・回収するのが当然であり、米軍におけるヘリコプターの整備や管理が不十分であると言わざるを得ません。

今回の事故は、生徒たちにとって一番安全であるべき学校で発生しており、平成29年の普天間第二小学校に窓枠が落下した事故及び緑ヶ丘保育園の事案も含めて、こうした事故がいつか人命にかかわる重大な事故につながりかねないと危惧しています。

県は、再びこのような事故が発生したことを重く受けとめ、6月7日に副知事が浦西中学校を訪れ、現場を確認するとともに、校長及び教頭から当時の状況について説明を受けました。

また、同日、第3海兵遠征軍司令官、在沖米国総領事、外務省特命全権大使沖縄担当及び沖縄防衛局長に対して、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを強く要請しました。あわせて、このような事故が発生するのは、住民生活に隣接して普天間飛行場があるがゆえであり、政府は、普天間飛行場周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、辺野古移設とは関係なしに、普天間飛行場の早期の運用停止を実現するよう強く求めたところであります。

今後、玉城知事が上京し、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣及び在日米軍司令官に対し、同様の抗議、要請を行うこととしております。

以上で、説明を終わります。

御審査のほど、よろしく申し上げます。

**○仲宗根悟委員長** 知事公室長の説明は終わりました。

これより、米軍CH53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故についての質疑を行います。

なお、質疑・答弁に当たっては、挙手により委員長の許可を得てから行い、

重複することがないように簡潔にお願いいたします。

質疑はありませんか。

山川典二委員。

○山川典二委員 気になるのは、普天間第二小学校の落下事故の後の学校側の対応—いろいろ対策をされておりますが、浦西中学校はちょうどもう1週間になります。その後、例えばヘリがまだ飛んでいますよね。そういうときに避難をしているような状況があるのかを含めて、現状を御説明をお願いします。

○半嶺満教育指導統括監 まず中学校の状況でありますけれども、屋外での授業あるいは早朝活動、清掃活動等は6月7日、先週の金曜日まで中止として対応しております。6月10日本日以降は、屋外での授業については2名体制—教員が2名つきまして、1人は監視ということで2名つけまして対応しております。清掃活動は担当教諭が必ずついて活動を行うという対応をとっております。

また、部活動につきましても、顧問が確実につきまして活動を行っております。上空にヘリが接近した場合には、その場で活動を中断しまして、屋根のある頑丈な建物に避難するといった対応をしているところであります。

○山川典二委員 きょうから部活動も含めて再開するという話なのですが、上空にヘリが来るたびに避難をするという対応を今後もずっと続けるということで、現段階では理解してもよいのですか。

○半嶺満教育指導統括監 学校に意向を確認しましたところ、今予定では、6月の20日ごろまではこのような緊急対応をとりたいということでありまして、それ以降につきましては市の教育委員会と確認をしながら、これまでの事例等も参考にしながら対応を検討しているようでございます。

○山川典二委員 上空にヘリが来るというその判断は、学校側の管理担当者の判断基準というのはどういうふうな状況でそういう避難指示を出すのですか。

○半嶺満教育指導統括監 基本的には先ほど申し上げましたとおり、教員がしっかりと監視役と—授業については監視役と授業を実施する2人の教員がおりまして、1人の教員が上空を確認しながら、上空にヘリが接近した場合、これが運動場の上空にということだと思っておりますけれども、その際に笛や声かけな

ど、合図で活動を中断しまして、屋根のある頑丈な建物に避難するというような対応になると聞いています。

○**山川典二委員** ですから、上空に来て判断をして笛を鳴らしたりしていても、もうすぐ飛び去っていきますよね、通常は。何機か—3機、4機、5機、一緒に飛ぶのであれば別の話でありますけれども、なかなかそういうことはないと思うので、その判断ですよ。例えば、ずっと監視している状況ではないとは思いますが、そういうものも必要なのではないですか。県としての見解—つまり、上空に目視で近づいてくるような状況のときに、前もってそういう避難態勢をとるとい管理体制ですよ。その部分についてはいかがですか。

○**半嶺満教育指導統括監** おっしゃるとおり、来てから避難しても遅い状況にありますので、基本的にはヘリが近づいて来るとい可能性を感じたときには、事前に笛、ベルで避難をするというような状況であると確認しています。

○**山川典二委員** これはわかればいいのですが、普天間第二小学校の事例ではどのようになっていますか。あそこは基地のすぐそばではあるのですが。

○**半嶺満教育指導統括監** 普天間第二小学校の監視の状況等を御説明させていただきますが、校舎屋上に1人、運動場に4人と、計5人の監視員、誘導員が配置をされておりまして、この避難の指示を出す条件としましては、学校上空を飛行する可能性があるとき、それから北向きの離陸と南向きの着陸が行われるときという状況も確認をして、その避難誘導を行っている聞いています。

○**山川典二委員** 基地のすぐそばですから、それは十分に理解できるのですけれども、今は普天間飛行場から2キロメートルも離れた学校ですよ。そういう場合の監視条件というのは、かなり突っ込んだ議論はまだされていませんか。県としての対応も含めて。

○**半嶺満教育指導統括監** 学校から確認をした状況で今御説明を申し上げましたが、具体的な条件等についてはまだしっかりと確認をしていない状況であります。

○**山川典二委員** それは、議論して条件の中身について、ある程度皆さんで指導することが必要だと思うのですが、それについてはいかがですか。

○半嶺満教育指導統括監 しっかりと、市、教育委員会とも連携をしながらその条件等については早急に確認していきたいと思います。

○山川典二委員 それと、2004年に沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落した後に、日米両政府で飛行経路の一普天間飛行場の軍用機の飛行経路の見直しをいたしました。そしてなるべく民間地の上空は飛ばないというような取り決めをしておりますが、それにつきましては承知おきしておりますか。今それがまだ生きているというふうな判断を県はなさっていますか。

○池田竹州知事公室長 今、山川委員の御指摘のもの一平成19年に日米間で合意して、報告書にまとめられております。それによりますと、学校、病院を含む人口密集地の上空を避けるということで、その報告書合意は今生きていると考えております。

○山川典二委員 今この普天間の場周経路といいますか、飛行経路。これにつきましていろんな議論があるのですが、直接的にこの普天間飛行場の飛行経路、場周経路に影響する市町村は何市町村あるのですか。

○仲宗根悟委員長 休憩いたします。

(休憩中に、執行部から後ほど資料提供したいとの申し出があり、了承された。)

○仲宗根悟委員長 再開いたします。  
山川典二委員。

○山川典二委員 では、後ほどお願いします。

なぜそれを聞いたかったかといいますと、そこにこの教育機関ですね。保育園、そして小学校、中学校、高校、あるいは高等機関といいますか一沖縄国際大学も琉大も入ると思うのですが、何校がその範囲内の対象になるのか。そして人数がどれくらいになるのか。もし今わからなければ後刻提出いただければと思います。

○池田竹州知事公室長 正確な学校数は後ほどきちんと調べてお答えしたいと

と思いますが、沖縄防衛局が公表しています航跡調査図によりますと、小中学校、あるいは大学、そのほかのいろいろ病院など載っています。小中高に限って見ても、場周経路の下にといいますか、少なくとも10校以上はあると考えております。場周経路というか、航跡の実際の経路上の下に10校程度以上は存在しているかと。

○仲宗根悟委員長 休憩いたします。

(休憩中に、山川委員から校数が少ないのではないかとの指摘があった。)

○仲宗根悟委員長 再開いたします。

池田竹州知事公室長。

○池田竹州知事公室長 宜野湾市が作成している資料で、普天間基地周辺の学校が19校あると聞いております。当然そのほかの学校—今回のように浦添市などもありますので、そこはきちんと確認してからまた後ほど資料でお答えしたいと思います。

○山川典二委員 ぜひ、この場周経路に係る市町村の教育機関—小学校、中学校、保育園、高等機関等含めて、しっかりと確認をしていただきたいし、資料の提出を求めます。

副知事が直接出向いていろいろな抗議活動をなさっておりますし、知事も上京して関係機関に抗議の申し入れをするということなのですが、今実際その実態として、国のほうも今回の事故に関しましても再発防止であるとか安全管理を徹底するように申し入れておりますが、それについて米軍側の対応が、報道でしか知らないのですが、報道のように理解をしていいのですか。

○溜政仁参事兼基地対策課長 6月7日に謝花副知事が米軍のほうに出向きまして、対応したロック少将のほうからの発言を御紹介させていただきます。

ロック少将からは、今回の事案が発生したことは残念であるという発言がありました。県民を隣人と考えており、我々の活動が不安を与えたことは大変遺憾だとのこと。事件発生後、飛行再開前に同機種の手紙を点検し、飛行再開に当たっては手紙を重点的に点検する措置をとったと。この手紙の使用目的は、プロペラを長持ちさせブレードの消耗を減らすためのものである、

飛行の安全に影響はないと。今後、願わくば、県民に大きな不安を与えるようなことがないようにしたいという旨のお話がありました。

○**山川典二委員** 防衛省を初め、国の機関が安全点検徹底の申し入れはしたのだけれども、要するに今回の抗議であるとか、飛行停止の申請をしなかったということについての県としての見解を、改めて整理して御答弁いただきたいと思えます。

○**池田竹州知事公室長** 県は事故発生のたびに、米軍及び関係機関に対しましては、事故原因の究明、再発防止、なお一層の安全管理を求めてきたところです。特に、航空機に関連する事故につきましては、県民に大きな不安を与え、そして一步間違えば人命、財産にかかわる重大な事故につながるおそれもあり、あってはならないと考えております。

私どもは今後とも軍転協などとも連携を図りながら、航空機のさらなる安全確保を米軍及び日米両政府に対して粘り強く求めていきたいと考えております。

今、外務省及び防衛省のほうで、いわゆる飛行停止を求めないことにつきましては、今両省に照会しているところでございます。

○**仲宗根悟委員長** ほかに質疑はありませんか。  
渡久地修委員。

○**渡久地修委員** これが落下した日、浦西中学校に米軍機から部品が落下したらしいという一報を受けて、僕はすぐに行ったんですよ。現場を見てきました。

先ほどの知事公室長の説明で、テニスコートに落下したということがあったけれど、テニスコートの端っこ、これは事実だけれども、抜けているのは子供のすぐそばなんだよ。30センチメートルそばということを知ったんだよね。これは何名か—20名だったかの子供たちがいて、足の先30センチのところに着いているわけよ。そこが、テニスコートにただ落ちたのと違うよ。子供のすぐそばに落ちたわけさ。

その辺は皆さん事実は把握していますか。

○**池田竹州知事公室長** 教頭先生と面談した際に、今、渡久地委員御指摘のように、生徒の約30センチメートルくらい離れたところに落ちてきたという。上を見上げたらヘリコプターが通過していたと。そのときテニスコートには24名

の生徒がいらっしゃったと聞いております。

○渡久地修委員 その子供たちはやっぱり非常に恐怖だったと。翌日の新聞—当日だったか忘れたけれど、かたい物だったらもう大変になっていたと言っていたらしいのですよね。僕は現物も見ました。現物も借りてさわってもみしました。大きさはこれくらいで、かぼんの布製かゴム製みたいな、リュックサックのあんな感じのものだったけれども、後でこれがプロペラを保護するものだと聞いて、逆にぞっとしたのだけれども、逆にプロペラまで破損していたらもっと大変なことになっていたということがあるので、これは絶対軽視できない問題だと思います。それで、当日これが落ちているときに、これはほかにもあるのではないですかということで、学校の主任、それから浦添市の教育委員会から来た管理職だったと思う—から来ていた人、それから県の公室にも連絡をしたのだけれど、これは広範囲に落下物があるんじゃないかと。学校の屋上、体育館の屋上を含めて、広範囲に探す必要があるよということを連絡したのだけれど、皆さん探しましたか。どうですか。

○溜政仁参事兼基地対策課長 知事公室としては探してはいません。

○渡久地修委員 教育委員会はどうですか。

○半嶺満教育指導統括監 今のところそれ以外に学校のほうから発見があったという報告はございません。

○渡久地修委員 翌日の新聞に、民間住宅にも落ちていたというものがあつたんだけど、学校を屋上も含めて県の教育委員会としてもちゃんと探すようにしたほうがいいんじゃないですか。やっぱりあれだけで終わらせてはいけないよ。

そしてあれは皆さんいろんな—米軍は被害を与えるものじゃないとかいろいろ言っているけど、その材質の検査を含めて、あるいは前、CH53のプロペラが東村に落ちたときに、放射性物質の話もあつたんだよ。プロペラが壊れたときに、放射性物質が飛び出て感知するというのもついているらしいのよ。そういうものがあるから、本当に子供たちが日常的にさわっても大丈夫なのかも含めて検査しないといけないと思うんだけどどうですか。

○池田竹州知事公室長 今落下物そのものは沖縄防衛局から米軍のほうに引き渡されて、米軍のほうでブレードテープの一部だという報告が来ております。

C H53にストロンチウム60ですかね、使われているのは私どもも把握していますので、その辺の情報提供は米側にしっかりと求めていきたいと思えます。

○**渡久地修委員** これは県の公室になるのか教育庁になるのか—やはり学校の体育館とか屋根等を含めて、敷地全体・周辺をしっかりと調査する必要があると僕は思うよ。そうしないと安心できませんよ。本当にこれだけだったのか、もっと広範囲に広がっているのかどうか。もっと大きい物が出てくるかもしれないよ。そこを調査してもらえませんか。

○**池田竹州知事公室長** 今回副知事が普天間飛行場のほうに出向いて抗議もしましたけれども、どの程度の物が落ちたのか、改めて確認は求めていきたいと思えます。

○**渡久地修委員** 知事公室長、米軍にどの程度の物が落ちたかじゃなくて、皆さん方で—これは教育委員会がやるのか、浦添市教育委員会がやるのか、県の教育庁も含めて学校の敷地周辺に落下物がほかにないですかというのを皆さんみずから調査しないと、子供たちは安心できませんよ。なかったらないで発表すればいいさ。そこは安心させるためにもやらないと。どうですか。

○**半嶺満教育指導統括監** 学校から、教頭が中心になって、体育館の屋上もある程度、確認できるところは確認したという報告はございましたが、いま一度市教育委員会とも対応をしっかりと検討していきたいと思えます。

○**渡久地修委員** ぜひお願いします。

それで、あとは子供たちのケアの問題。やっぱり不安だと思うんですよ。その辺はどんな対応をしていますか。

○**半嶺満教育指導統括監** 生徒の状況等、少し報告が学校からございますが、今のところは特に変わった様子は見受けられないと。通常どおりの学校の状態で、生徒の様子も落ちついているとは聞いておりますけれども、やはり子供たちは大きな不安を抱いているものと思えます。この点につきましては、生徒自身の心のケアを第一に考えまして、スクールカウンセラーの派遣・増員等を必要に応じて対応していきたいと考えております。

現在特に発見をした3名の生徒がおりまして、その生徒については学校から要望がございましたので、きょうから3日間かけてスクールカウンセラーを増

員しまして、ケアをする、面談をする予定でございます。

○**渡久地修委員** 半嶺さん、米軍が人身や財産に脅威を与えないと断言していることについては、皆さん方教育者としてどう思いますか。やっぱり不安と恐怖を物すごく与えていると僕は思うんだけど、どうですか。

○**半嶺満教育指導統括監** お話のとおり、学校現場において生徒の安全を脅かすようなことは断じてあってはならないと考えております。この件については、非常に強い憤りを感じているところでございます。

○**渡久地修委員** 知事公室長、さっきもあったけれど、現場でも記者からの質問で、米軍ヘリでしたか、民間ヘリでしたかという質問がありました。子供たちだから、ヘリが飛んでいたというのはわかるけれども、どのヘリで、これが米軍とか民間とか、そんな区別ではなくてヘリが飛んでいたよということなんだよね。だから教頭先生も、あれは米軍でした、民間機でしたという断言は、本人は確認していないからできなかつたんだけど、ただ、ここは日常的に米軍機が飛んでいますよねと言ったら、はいと言っていたんだよね。翌日の新聞でもさっきのあれでも、この学校は場周経路の真下よね。米軍機がずっと飛んでいるのよね、日常的に。それはどうですか。

○**金城典和基地対策統括監** 部品の落下の翌日、私のほうも場周経路がどうなっているかということで、平成30年度の場周経路の月別のものは、沖縄防衛局からいただいていた。それで、ちょっとわかりにくいではあるのですが、その図面の中から浦西中学がどこに当たるか。これが各月ごとにどうなっているかということを一応確認いたしました。沖縄防衛局は、一応航跡調査は200メートル近くの誤差はあるということではいるのですけれども、やはり全体的に浦西中学校の近くを通っているという航跡は確認しているところではあります。

○**渡久地修委員** それで、この今回の事故は、僕は落ちた物がゴム製のものだったどうだった、これ自体がもう大問題で、それと同時に学校、保育園、病院、住宅上空は飛んではならないというのは日本の航空法なのよ。訓練してはならない。それを無視して飛んでいる。これまで普天間第二小学校でも事故を起こした。これは県議会でも決議もした、県も何度も求めている。学校上空を飛ぶなど、住宅上空を飛ぶなど。それでも飛んでいること自体が大問題だと思うん

だよ、飛んでいること自体が。だから落下物が米軍の言うように脅威を与えるものではあるとかないか、とにかく絶対許せないのだけど、そういう問題ではなくて、飛んではいけないものが飛んでいるということだと思っただけど、その認識はどうですか。

○池田竹州知事公室長 先ほどもお答えしましたけれども、日米間で学校、病院等の上空の飛行を極力避けるということで合意しております。残念ながら普天間第二小学校でも今回の事例でもそれが守られていないという実態があると考えています。

○渡久地修委員 あと、安倍首相と元知事が5年以内の運用停止というのを約束して、これは2月一もうとっくに過ぎてきているんだよ。運用停止しなければならない基地なのよ。とっくにされていなければならない。それでも運用しているということが大問題なので、これは即刻運用停止せよと。県としても運用停止せよということを求めていくことが僕は一番大事だと思うのですがどうですか。

○池田竹州知事公室長 7日に行いました副知事から4つの機関への要請の際にも、普天間飛行場の危険性とかかわりなく一外務、防衛ですか、早期の運用停止を実現するよう求めたところでございます。

○渡久地修委員 あと教育指導統括監にお尋ねしますが、この普天間第二小学校に落ちたときも僕はすぐに行ったんだけど、あのときも、教頭先生はある意味では大変な一パニックというのか、そんな感じの状況だったよ。今回も落下物は落ちるわ、事故対応で大変なあれだったと思います。

教育現場でこんなことが起こるということ自体、もうあり得ないことなのよ。総務企画委員会でイタリアに行ったときに、向こうの元司令官が、学校に窓が落下するなんて世界ではあり得ないと言っていた。異常だと。この異常が沖縄で頻発しているわけさ。だからこれは、教育庁、教育界として、僕は絶対に座視てはならない、それでやっぱり学校上空は飛ぶな、普天間基地の運用停止、閉鎖・撤去というのを教育長を先頭にして、僕は例えば全県の校長会なり、何とか緊急に招集して、そこで教育界としても決議を上げて米軍と政府に、絶対学校上空を飛ばすなと。普天間基地は閉鎖・撤去するということ、教育界全体として今立ち上がることが必要じゃないかな。そうしないと子供たちを守れませんよ。何かあったら大変よ。どうですか。

○半嶺満教育指導統括監 児童生徒の安全・安心を確保するためにしっかり取り組んでいく必要があると思います。特に米軍は、日米間の飛行に関する協定に従って、この上空の飛行は取りやめるべきであると考えております。毎年2月には教育長が沖縄防衛局を訪ねて、その上空を飛ばないような要請を行っておりますけれども、今後の対応の仕方についてはしっかりと検討していきたいと思っております。

○渡久地修委員 今回のものを軽く見たら絶対だめだと思う。だから緊急に全部の学校の校長会なりを開いて、大きな運動を教育長、教育界で起こす必要があると思う。

県でも、普天間基地の運用停止、これは今までやっているだけじゃなくて、もっと強く知事を先頭にやっていかないといけないと思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

○仲宗根悟委員長 ほかに質疑はありませんか。

末松文信委員。

○末松文信委員 ちょっと事実関係を確認したいのですが、この落下したゴム製の粘着テープ、これの形状とサイズがどのくらいになるのか教えてもらえますか。

○溜政仁参事兼基地対策課長 形状としましては20センチメートルから15センチメートルくらいの切れ端という形の物のようでした。

○末松文信委員 厚みはどうですか。

○溜政仁参事兼基地対策課長 情報では1ミリメートル程度という話を聞いているのですが……。

○末松文信委員 20グラムというので、比重からするとどのくらいかわかると思うのですが、いずれにしても1ミリメートルくらい。そうするとこれは上空からふわふわと落ちてくるような感じなのか。そのくらいのものであれば。

○溜政仁参事兼基地対策課長 浦西中学校の教頭先生に確認したところ、やは

り上空から真っすぐではなく、ふわふわという感じで落ちてきたと子供たちから聞いたと言っておりました。

○末松文信委員 剥がれた原因というのは確認されていますか。

○溜政仁参事兼基地対策課長 直接的には聞いておりません。ただ、劣化したテープは全て回収というか、張り直したという報告は受けております。

○末松文信委員 このサイズのほかに、何か大きなサイズがあるとかいうこともありますか。

○溜政仁参事兼基地対策課長 回収したテープのサイズ等は確認しておりません。

○仲宗根悟委員長 ほかに質疑はありませんか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

○仲宗根悟委員長 質疑なしと認めます。

以上で、米軍CH53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故についての質疑を終結いたします。

説明員の皆さん、大変御苦労さまでした。

休憩いたします。

(休憩中に、執行部退室。その後、議題の追加について協議した結果、追加することで意見の一致を見た。)

○仲宗根悟委員長 再開いたします。

お諮りいたします。

米軍CH53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故についてに係る意見書及び抗議決議については、休憩中に御協議いたしましたとおり、議題に追加し、直ちに審査を行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○仲宗根悟委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

米軍CH53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故についてに係る意見書及び抗議決議の提出についてを議題といたします。

休憩いたします。

(休憩中に、意見書及び同抗議決議の提出の可否、文案及び提案方法等について協議した結果、意見書及び同抗議決議を提出すること、提出者は本委員会の全委員とし、本委員会に所属しない無所属の議員にも呼びかけること、提案理由説明者は委員長とし、要請方法は、県外は文書送付、県内は直接要請とし、議員派遣については議会棟においてその趣旨を直接要請することを含め、本委員会の委員を派遣するよう議長に申し入れることで意見の一致を見た。)

○仲宗根悟委員長 再開いたします。

お諮りいたします。

議員提出議案としての米軍CH53E大型輸送ヘリコプターからの浦西中学校への部品落下事故についてに関する意見書及び同抗議決議については、案のとおり提出することとし、提出方法等については、休憩中に御協議いたしましたとおりに決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○仲宗根悟委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

以上で、予定の議題は全て終了いたしました。

委員の皆さん大変御苦労さまでした。

本日の委員会は、これをもって散会いたします。

沖縄県議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

委員 長      仲宗根      悟